



大田区男女共同参画のための情報誌

パステル

No. 126
2021
Autumn

巻頭インタビュー

弁護士

菊地幸夫さん

特集

ワーク・ライフ・バランス
最前線

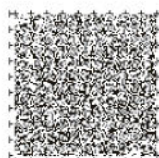
ひと・まち・カラフル
おおたの窓から

view 1

多目的スタジオ
つながるwacca

Information

「エセナおおた」に行こう！
相談窓口のご案内



このマークは、目の不自由な方などのための「音声コード」です。コードの位置を示す切り込みを入れています。スマートフォンや専用の読み上げ装置で読み取ると、記載内容を聞くことができます。



「ご家族について教えてください。」

妻と3人の娘がいます。娘たちは成人しており、長女と次女には子どもがいます。去年、3人目となる孫が生まれました。コロナ禍でまだ直接顔を見ることができていませんが、会える日を心待ちにしています。

弁護士という職業柄、平日は、どうしても仕事中心になりがちですが、昔から家庭に費やす時間もしっかりと確保したいと考えており、娘たちが小さい頃は、散歩に連れて行ったり家族で山登りをしたりと、一緒に過ごす時間を大切にしてきました。先輩世代には、仕事だけに「極集中し」俺なんて、家族は放ったらかしだよ」なんて誇らしげに語る人も多かったのですが、僕はそれに違和感がありました。家族の利益や幸

巻頭インタビュー

弁護士

菊地 幸夫

Yukio Kikuchi

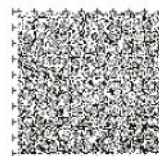
さん



撮影協力：古民家カフェ蓮月

Profile

弁護士。テレビのコメンテーターや講演会の講師など多方面で活躍。地域活動にも積極的に参加しており、地元小学校の女子バレーボールチームやPTAチームの監督、学校評議員等を務める。3女の父であり、3男の祖父。



せを一番に考えるのは、他でもない自分だと自負していましたから。

僕の父も仕事が終わるとまっすぐ帰ってくる人で、休日は家族みんなで過ごしていました。自分自身も、影響しているかもしれませんが。

地域活動について教えてください。

地元の小学校で、女子バレーボールチームとPTAチームの監督をしており、土日に指導をしています。もう20年程になりますが、この活動をきっかけに地域とのつながりができ、感謝しています。近所で犬の散歩などをしていると、学校の子どもたちや親御さん、校長先生など多くの方が声をかけてくれ、とても嬉しいですね。また、教員さんたちの成長も楽しみです。卒業式に参列し、子どもたちの晴れ姿を見た時などは「なんて立派になったんだらう」と涙がこみ上げてきます。卒業生とまちなかで遭遇した時には、すっかり大人になっていて驚きます。

今はバレーの監督のほか、学校評議員や、学校で

人のために何かをすると、

きっと、人生が豊かになる！

の授業もさせていただいています。実は、弁護士と同様に学校の先生にもなりたいたいと思っていました。地域での活動の中で、もう一つの夢も叶ったように感じています。今後も地域での活動を続けていきたいです。

ワーク・ライフ・バランスの実現のヒントを教えてください。

ワーク・ライフ・バランスについて考える時、いかに労働時間を短縮してプライベートの時間を確保するか、という議論が中心になりがちです。それはもちろん大切ですが、一方で、僕

は、仕事以外の時間、「ライフ」をどう過ごすか、という視点が重要だと思っています。ワーク・ライフ・バランスは、プライベートの時間を確保することがゴールではありません。

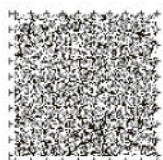
「人生100年時代」の今、多くの人は、定年退職後に新たな生きがいを見つけ、セカンドライフをスタートします。その時、身近な地域社会に自分の居場所や活躍できる場面があるかどうか、実はとても重要なことだと感じます。

よく、定年退職した人が地域活動にいきなり参加してみたものの、人間関係をうまく築けなかったり、周囲を困らせてしまったり、順

応できずにいるケースを見かけます。僕の場合は、特に男性に、それまでの自分の立場や会社での肩書きをリセットできず、地域にうまく溶け込めない人が多いように感じます。

コロナ禍でテレワークが推進される中、通勤時間が減り、仕事以外の時間が増えた人も多いと思います。その時間を自己研鑽や趣味

といった「自分のため」だけでなく、ぜひ、家族や地域社会など「人のため」にも使ってみてください。地域の子どもにも勉強やスポーツを教えたり、ボランティアに参加したり、自分の経験を生かしてできることがあるはずですよ。誰かの役に立つことをしてみると、自分にも良いことが返ってきて、人生が彩り豊かになりますよ！



※このインタビューは、令和3年9月13日に行いました。

特集

ワーク・ライフ・バランス最前線

多様化する働き方、広がる選択肢

ワーク・ライフ・バランスの「今」

ワーク・ライフ・バランスは「仕事と生活の調和」を意味します。行政や企業等でワーク・ライフ・バランス実現に向けた取組が推進される中、人々の意識や働き方はどのように変化しているのでしょうか。また、仕事と生活の調和をとるためには何が大切な

のでしょうか。

国の意識調査をみると、非正社員より正社員、女性より男性で、仕事を優先させている割合が高く、正社員の男性では過半数を超えています。共働き家庭



が増え、パートナーとの協力体制、特に男性の積極的な家事・育児参加が必要

になっていきますが、仕事と家庭生活ともに優先させている男性の割合は1割強となっています(図1)。

また、国の他の調査をみると、以前と比較して、週60時間以上働く労働者割合が減ったことや、年次有給取得率が向上し、出産後も働き続ける女性が増



え、男性の育休取得率が向上したことなどがわかります(図2)。長時間労働を防ぐ仕組みづくりや、休暇取得促進、フレックスタイム制等の各種制度整備など、企業の取組も一定の成果をあげている要因の一つと考えられます。



視聴はこちら

「働く、が変わる。TeleWork」
～テレワーク導入事例：総務省編～
配信：総務省動画チャンネル(総務省)



視聴はこちら

WLB体操第一
配信：九州・山口ワーク・ライフ・バランス
推進キャンペーン



プラスアルファ
見てまなぶ

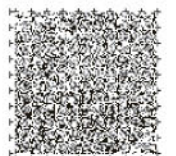
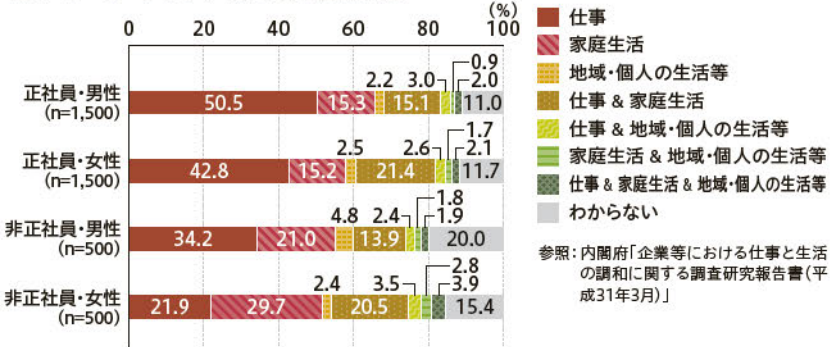


図2:働き方関連データの比較

	過去	現在
週労働時間60時間以上の 雇者の割合	10.8% [2006]	5.1% [2020]
年次有給 休暇取得率	46.6% [2006]	56.3% [2019]
第1子出産前後の 女性の継続就業率	38.0% [2000-2004] →遡及改定値 39.8%	53.1% [2010-2014]
男性の育児休業 取得率	0.50% [2005]	7.48% [2019]

参照:内閣府「仕事と生活の調和
(ワーク・ライフ・バランス)レポート2020」

図1:ワーク・ライフ・バランスの優先内容



多様化する ワークスタイル

昨今、多くの企業で働き方の選択肢を広げる取組が進んでいます。コロナ禍でテレワークを導入する企業も急増しており、東京都では現在、63・9%の企業がテレワークを実施しています(※)。在宅での勤務が可能になり、通勤時間が削減されたことで、時間を有効活用できるようなったという肯定的な声もあがっています。その他、余暇を楽しみつつテレワークができる「ワーケーション」を推奨したり、副業・兼業を認めたりする企業も増えています。子育てや介護をしている人をはじめ、様々な状況の人が働きやすい環境をつくることは、離職防止、人材確保につながるため、企業にもメリットがあります。ワー

ケーションや副業・兼業についても、生産性の向上や、会社に新たな視点をもたらされる等の利点があるとされています。

自分にちょうどよい バランスは?

理想のワーク・ライフ・バランスは人によって異なり、仕事と私生活の時間配分も様々です。また、ライフステージに応じてワーク・ライフ・バランスは変化します。仕事に専念したい期間、子育てを優先したいタイミング等、その時々でバランスを調整していくことがポイントです。



仕事以外の時間の過ごし方には、家事・育児、介護、家族や友人と過ごす時間、趣味のほか、心身の休息、自己研鑽、地域活動等が含まれます。例えば、仕事で培ったスキルや趣味・特技を身近な地域で実践してみると、新たな活躍の場が見つかるかもしれません。職場や家庭以外のコミュニケーションに参加することで心身をリフレッシュできるだけではなく、人脈を広げたり仕事への刺激やヒントを得られたりする可能性もあります。区内にも地域交流の場が数多くあり、区報に情報を掲載しています。この機に地域活動に参加してみたいかがでしょうか。

※東京都「テレワーク実施率調査結果をお知らせします! 9月の調査結果」より。

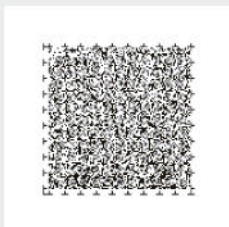
家事は8割 捨てていい

佐光紀子 著
宝島社 発行

新しい生活様式が進む今こそ家族で家事をシェアするチャンス。効率化のヒントが満載の一冊です。



パステル
おすすめ本



ひと・まち・カラフル

おおたの窓から

地域であざやかに活躍する「ひと」。

十人十色のひとが調和する「まち」。

おおたの窓を開けると、飛び込んでくるのは、いきいき、カラフルな地域の風景です。

view 1 多目的スタジオ つながるwacca



井上千尋さん 陽葉ちゃん 井上隆之さん

つながるwaccaは、どんな場所ですか？

千尋さん…ヨガや社交ダンス、料理教室等、各種講座を行う多目的スタジオです。昨年開設し、多くの方に利用していただいています。以前は参加者だった方が講師になってくれるなど、人との「縁」で活動の幅が広がっています。

開設経緯や家族のライフスタイルを教えてください。

隆之さん…僕はもともと社交ダンスの講師で、自分のスタジオを持ちたいと考えていました。その矢先に「池上エリアリノベーションプロジェクト」

プロジェクト(※)のサポート

で物件が

見分かり

ました。現



在はこち

らで社交

ダンス講

座を開き

つつ、同時

に、週に2

日、介護職

員の仕事もしています。自分たちにちょうどよいペースで働き、子育てや家族の時間を大切にできていると感じます。娘もここで地域の大人とたくさん関わり、見守られながら成長できています。

千尋さん…私は以前、管理栄養士として病院に勤務していました。そこで、患者さんと関わる中、「治療」より「予防」に携わりたい、食事だけでなく心身のケアもサポートしたいと思いました。ヨガインストラクターの資格を取り、現在はこちらで親子向けヨガ等の講師をしています。第一子の妊娠・出産を経験して、ママの産



前産後の自分自身へのケアがとても大切と実感し、活動しています。楽しみながら地域のママの産前産後ケアをお手伝いできて嬉しいです。

コロナ禍でコミュニケーションの機会が減っている今、情報交換や気軽なおしゃべりができる場にもなっていますね。今後は、男性が参加しやすい料理教室、食育講座なども充実させていきたいです。

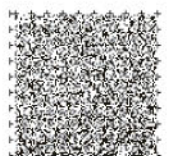
※大田区と東急株式会社が連携して進める、東急池上線池上駅周辺エリアのまちづくり。

My Favorite View

駅ビル 「エトモ池上」5階

窓から池上線やバスが走る様子を眺めることができ、子どもが喜びます。ベビー休憩所もあり、子連れの方に優しいスペースです。

(千尋さん)



Information



地域活動に参加してみませんか

大田区では、地域活動団体のイベント情報や活動情報をいつでも入手できる区民活動情報サイト「オーちゃんネット」を開設しています。ぜひご利用ください。



QRでアクセス

「パステル」をリニューアルしました

大田区男女共同参画のための情報誌「パステル」は、今号よりデザインをリニューアルしました。新たな「パステル」をご覧くださいとともに、この機にぜひ、過去号もご覧ください。



QRでアクセス

「ジェンダー・ギャップ指数2021」が公表されました

世界経済フォーラムでは2021年(令和3年)3月、各国の男女格差を測るジェンダーギャップ指数を公表しました。日本の総合スコアは0.656で、156か国中120位でした。

順位	国名
1	アイスランド
2	フィンランド
3	ノルウェー
4	ニュージーランド
5	スウェーデン
⋮	⋮
120	日本
⋮	⋮



QRでアクセス

ワーク・ライフ・バランスについてのレポートが公開されました

国では「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)総括文書-2007~2020-」を公表しました。日本におけるワーク・ライフ・バランスの現状や課題等がまとめられています。



QRでアクセス

LINEでDV相談 「ささええるライン@東京」

東京都では、配偶者やパートナーからの暴力被害に悩む方に向けてLINE相談を実施しています。困りごと、不安なことがある方は、気軽にご利用ください。



QRでアクセス

女性の悩み相談サイト 「TOKYOメンターカフェ」が開設されました

身近な悩みを気軽に相談できる、女性のための悩み相談サイトです。仕事、子育て等の経験がある方が「都民メンター」として女性の悩みに寄り添います。



QRでアクセス

仕事と育児・介護の両立を支える様々な制度を持ち、労働者が多様かつ柔軟な働き方を選択できるように各種取組を行う企業のこと。取組例として、1年を超える育児休業制度、分割取得できる介護休業制度、フレックスタイム制、事業所内託児施設等の導入があげられる。



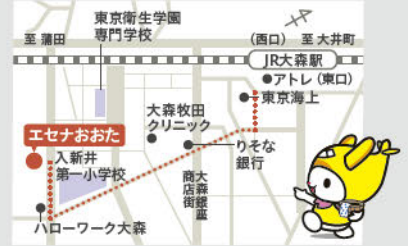
「エセナおおた」に行こう!

エセナおおたは、
男女共同参画社会の実現を目指す活動拠点施設です。
講座・講演会の開催、情報収集・発信、
交流の場の提供などを行っています。

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」
〒143-0016 大田区大森北4-16-4
TEL:03-3766-4586 FAX:03-5764-0604



QRコードから
アクセス



JR京浜東北線 大森駅より徒歩8分。
駐車場はありません。

EVENT REPORT

講座を 開きました

家族も喜ぶ パパの洗濯講座

佐藤友彦さん(株式会社白洋舎)、和光聡さん(おとな&こども・ほっとネット)を講師に、男性の家事参画講座を実施しました。クリーニングのプロの佐藤さんから洗濯の極意を教わるとともに、先輩パパの和光さんから家族とのコミュニケーション術を学ぶこともできたと、大変好評いただきました。



ご好評につき2年連続実施。
※令和3年度はオンラインで開講。



洗濯の技術や
科学を学べた。
シミとりは任せると
言えるようになります!

洗濯の基本を
知らなかったので、
事象ごとに解説して
もらえてよかった。



実験や科学技術を根拠に
洗濯のコツがわかり、参加者も納得。

EVENT SCHEDULE

今後の注目イベント

令和3年11月12日(金)から
12月28日(火)まで
展示 ストップDV
～女性に対するあらゆる
暴力の根絶のために～

令和3年12月25日(土)
14:30～15:30
パパといっしょに
クリスマスコンサート

令和4年1月22日(土)
14:00～15:00
(仮)パパといっしょに
作ってあそぼ

※日程変更など最新の情報や詳細
はホームページをご覧ください。



相談窓口のご案内

相談無料、秘密厳守

相談内容	TEL	相談日時	
女性のための たんぼぼ相談	03-3766-6581	月・金……………10:00～13:00 火・木……………13:00～16:00 水……………18:00～21:00 土……………13:00～19:00 (年末年始を除く) ※相談受付は終了時間の30分前まで	詳細内容は QRコードから アクセス
DV相談ダイヤル	03-6423-0502	月～金……………9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)	詳細内容は QRコードから アクセス
男性相談ダイヤル	03-6404-6020	第2・4金曜日 17:00～20:00 (祝日・年末年始を除く) ※相談受付は終了時間の30分前まで	

※臨時休業や時間変更など最新情報は区ホームページでご確認ください。

編集・発行/
大田区 総務部 人権・男女平等推進課
〒144-8621 大田区蒲田5-13-14
TEL:03-5744-1610 FAX:03-5744-1556
令和3年11月発行



過去のバックナンバーは
大田区ホームページに掲載しています。
ご意見・ご感想もこちらの
ホームページからご入力いただけます。

